

## 下水道

コロombo市では、1900年代の始め、イギリス植民地時代に大規模な下水道設備がつけられました。この下水道は、総延長300kmを超える下水道管と18カ所の汚水ポンプ場（地中深くなった下水管の水をポンプの力で地上近くに引きあげる装置）からできていて、今では約50万人が使っていると言われています。

しかし、この下水道設備には汚水処理場は無く、北（マトバル）と南（ウエラワッタ）の2ヶ所で直接海（岸から約2kmの沖合）に流されています。

下水道の設備には定期的な掃除や点検修理が欠かせませんが、たくさんのお金が必要なことから、今までコロomboではあまり行われてきませんでした。そのためパイプの中が詰まるなどして汚れた水が近くの川や池に流れ出し、大きな環境問題になっています。これを改善するため、現在、スリランカ政府は大コロombo圏下水道修理再建（リハビリ）計画を、外国に援助を求めながら進めています。

最近では、いくつかの工業団地や住宅団地でも下水道管や小規模な下水処理場が建設され、汚水をできるだけきれいな水にもどして川や運河に放流しています。



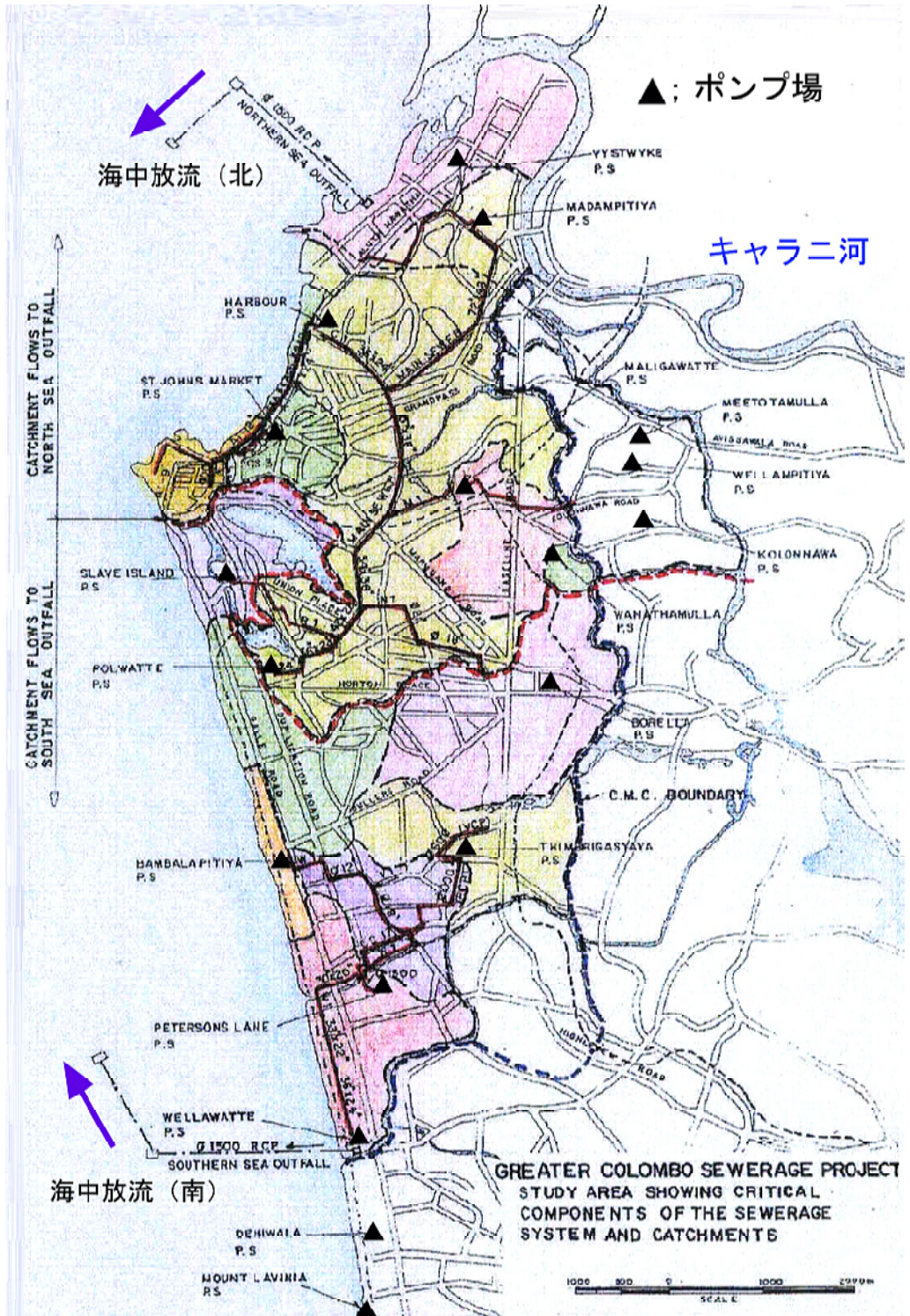
下水道の仕組みに関する展示

（タウンホール）



ピヤガマ下水処理場

汚水を肥料として再利用します。



コロンボ市内の下水道のようす